

認知症に関する活動計画（概要）

福井県作業療法士会では、平成25年度から特設委員会として認知症対策委員会を設置し、会員の認知症への理解や対応力を高めるために、認知症や認知症予防に関する情報の把握・勉強会・研修会等を開催している。今年度、新たに新規のメンバー3名が加わり、現在対策委員会は16名で活動している。今年度は6月に対策委員会で会議を開き、勉強会（情報交換会）を3回と来年の2月にスキルアップ研修会を企画し開催する予定である。また啓発活動として、市町の「認知症フェア」や広報部とコラボして「健康フェア」に参加して認知症に関する情報配信などを行う予定である。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

特に福井県の作業療法士会では企画していないが、福井県ではアルツハイマー・デーの講演会が企画されているので、会員に広報していきたいと考えている。また勝山市では9月のアルツハイマー・デーにちなみ、行政が主導で「認知症フェア」を開催するので、ブースを出展して協力できればと考えている。



今年の講演会の予定



昨年の「認知症フェア」の様子

認知症の人と家族の会との連携事業や他団体や市町との連携事業等

認知症の人と家族の会 福井県支部が開催する家族支援プログラム（6回シリーズ）の5回目の講師として、田嶋会長が「寄り添ってみましょう、相手の心 認知症の方へのリハビリ」と題して講義をする予定である。

その他、福井県の若年性認知症自立支援ネットワーク会議に参加している会員、大野市でサロンを立ち上げて親睦や啓発活動を行っている会員、職場で初期集中支援事業や行政依頼の認知症支援事業の講師をしている会員、認知症キャラバンメイトの活動をしている会員等、それぞれの市町と顔の見える関係性を築いている会員もいる。



認知症対策委員会の事業（士会独自の取り組みなど）

R6.3.16（土）第10回福井県作業療法学会にて「OTのための認知症カフェ」のブースを設置し、会員向けに認知症に関するさまざまな情報：協会情報・福井県情報・予防情報・現場情報・事例紹介・書籍紹介・脳トレ紹介など広報・啓発すると共に参加者の方にアンケートを実施し、会員の声(困りごと＋ニーズ)を収集することができた。

今年度はこのアンケートから収集した会員の声を反映して、勉強会や研修会のテーマを決めて開催する予定である。先日、1回目の勉強会を開催し「実際に対応している具体的な方法が聞けて参考になりました。明日から活かそうです。」等のコメントを頂いている。



学会の認知症カフェの様子



今年の勉強会研修会の予定